

大規模災害の対応力強化

～流域治水の推進～

【担当省庁】国土交通省

《国による取組》

1. 大和川 直轄事業の推進

御礼 大和川直轄遊水地をはじめとした事業推進に感謝します。

①直轄遊水地の整備推進



②河川整備計画に基づく堤防整備の早期完成



③窪田地区河川防災ステーション

- ・整備推進
- ・県や市町村防災部局との連携した運用



資料提供: 大和川河川事務所

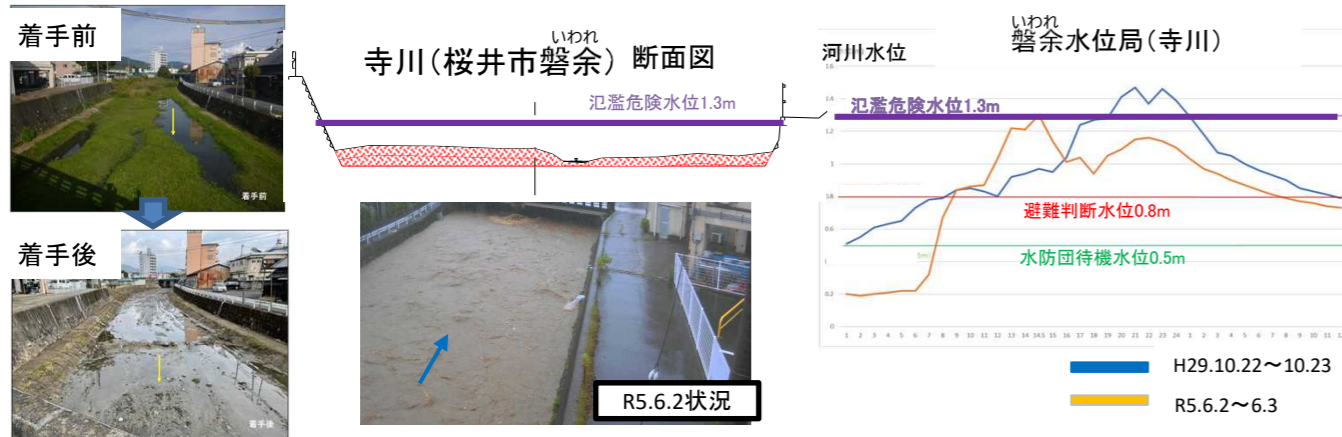
《奈良県における取組》

2. 緊急浚渫推進事業の効果

御礼 緊急浚渫推進事業の促進に感謝します。

予算の推移【百万円】
R2年度 1,017
R3年度 1,191
R4年度 1,867
R5年度 1,928

平成29年の豪雨では、氾濫危険水位を約5時間(最大17cm)超過しましたが、同程度の降雨量である、令和5年6月の豪雨では、対策実施等の効果により、10分間の超過にとどまりました。

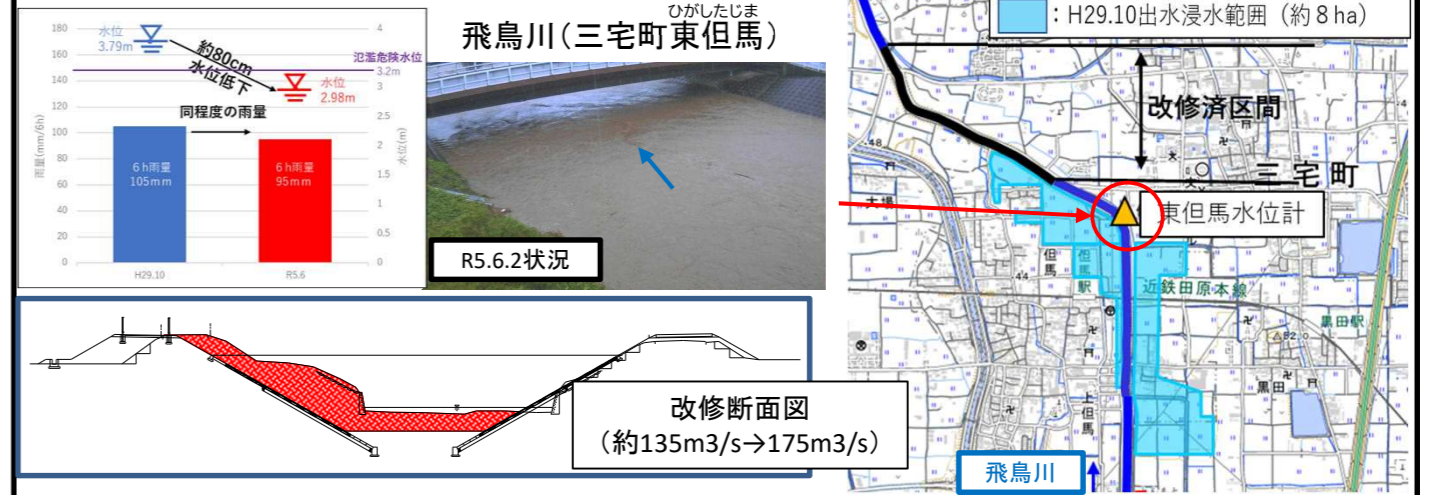


3. 特定都市河川浸水被害対策事業等の効果

- ・特定都市河川浸水被害対策事業等の支援に感謝します。
- ・特定都市河川の指定による予算確保に感謝します。

河川整備計画	整備割合
大和川水系	
生駒いかるが圏域	24%
平城圏域	60%
布留飛鳥圏域	24%
曾我葛城圏域	21%
合計	29%

令和5年6月の豪雨では、浸水被害の発生した平成29年10月と同程度の降雨量(6時間雨量)を観測しましたが、対策の実施等の効果により、**東但馬**観測所地点で**約80cm水位が低減**し、浸水被害を防ぎました。



4. 奈良県平成緊急内水対策事業の効果

御礼 国からの支援により貯留施設の整備が完了した地域では、令和5年6月出水において、**浸水被害が解消**もしくは**大幅に軽減**。

整備効果

【田原本町地下貯留施設】(令和2年度末完成)

R5.6出水において、田原本町が整備した雨水貯留施設が初めて稼働。町内では家屋浸水が発生したものの、**貯留施設の流域内では、浸水被害が発生しなかった。**

浸水被害解消に向け事業推進

必要容量に対する事業中容量は約3割

- ・供用済: 3箇所
- ・工事中: 17箇所

重点的な支援の継続

【財政支援】

国: 50%、県: 20%

事業費 100				
国費	県補助	交付税	市町村	一般財源
50	20	10	15	5

県や市町村が一体となって取り組む内水対策については、優先的に予算措置をお願いしたい。

必要容量	約97万m ³
計画容量	約62万m ³
事業中容量	約30万m ³

国にお願いすること

- 大和川 直轄事業の推進
- 緊急浚渫推進事業の**恒久的な制度化**
- 特定都市河川浸水被害対策事業等の促進
特定都市河川浸水被害対策法に基づく**区域指定に向けた支援**
 - 自発的協力者(地権者)に対するインセンティブの拡充
 - 特定開発行為等の審査に必要な技術基準策定への助言
- 奈良県平成緊急内水対策事業への支援



【県担当部局】 県土マネジメント部河川整備課